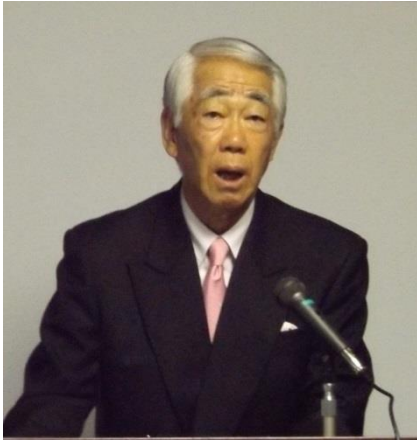


平成 30 年度三重県商工会議所連合会 第 2 回会頭会議を開催

～ 30.11.18 六華苑和館 ～

三重県商工会議所連合会（会長：岡本直之）は、平成 30 年 11 月 18 日（日）六華苑和館（桑名市）にて、県内各商工会議所会頭等の出席をいただき、会頭会議を開催しました。



▲挨拶をする岡本会長



▲会頭会議の様子

岡本会長は冒頭の挨拶の中で、景気動向や I T・ロボットなどによる生産性の向上へ取組みに触れ「多様な人材活用の必要性など、地域の課題が多様化、複雑化、広域化するなかで商工会議所の役割が一層大きくなっている」と述べました。また、「県連は『12 商工会議所同士の連携や関係機関とのコラボレーションの推進』をモットーに皆様の協力を得ながら取組みを進めていますが、今年度は台湾・タイ経済ミッション、三重県知事への提言要望活動、中部地方整備局との意見交換会、インターハイや博物館・美術館行事への支援、各地域の祭りなど訪問する取組みを行ってきました。殊に、海外経済ミッションでは、台湾貿易センターと連携協定を締結し、今後、具体的な成果が出るよう活動していきたいと考えていますので、提案、要望などをいただき、ご協力をよろしくお願いいたします」と話しました。



会議では、四日市商工会議所の種橋潤治会頭、桑名商工会議所の中澤康哉会頭から、それぞれ管内状況や観光振興、地域活性化の取組みについて説明を受けました。

また、三重県国体・全国障害者スポーツ大会局の村上輝行局長から「三重とこわか国体」の紹介と協力要請がありました。

▲説明をする種橋会頭（四日市） ▲説明をする中澤会頭（桑名）

その後、ばんこの里会館の数馬桂子館長から「万古 300 t h 四日市地場産業の誇り」、桑名市博物館の杉本 竜館長から「戊辰戦争と桑名藩」と題してそれぞれ講話を拝聴しました。

会議終了後は、会場を魚重楼に移して懇談会を開催し、終始和やかな雰囲気の中情報交換等を行い、大変有意義な会となりました。